

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
612	ドイツ語学演習 <German Linguistics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
ドイツ文学	小坂 光一(KOSAKA Koichi)	前期	水曜：2限	
講義題目 Title	話ことばの文法と口語表現			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	ドイツ語によるコミュニケーションにあたっては、まず相手の発話を理解すること、相手の心的姿勢を理解すること、自分の心的姿勢を適切に表現することが重要になる。これらの能力を身につけるためにさまざまな練習を行う。 この授業では授業中における練習が最も重要であり、最優先される。			
授業の目的 Purpose	The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to achieve a better performance in the communication. 話しことばの文法を習得すること、及び、その文法に基づいて、話しことばの理解能力を得ることを目指す。			
授業の内容 授業の方法 Content	授業では次のことを行う。 (1) ドイツ語圏の都市に関係した内容を題材にし、ドイツ語の聞き取り練習と表現練習を行う。 2017年度は Salzburg、Basel、Bochum の3都市を扱う予定。 (2) 音声教材を用いた聞き取り練習を行う。 (3) その他、授業では一般的にはあまり扱われていない実用文法（話しことば特有の文法）も学ぶことになる。			
教科書 テキスト Textbooks	プリント教材と音声教材を使う。			
参考書 References	必要に応じて授業中に指示する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	口頭練習が主なので、授業中の練習が最も重要であるが、授業中に指示された項目に関しては自宅での準備も必要なことがある。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	授業中の貢献度とできれば60% 期末試験（もしくはレポート）40% ただし、通常の授業における練習と試験の内容は連動するので、授業と試験は内容的に一体化している。 5回以上無断欠席をした場合は自動的に「F（不合格）」になる。			
連絡方法 Contact information	第1回目の授業でメールアドレスと携帯電話番号を伝える。このいずれかを使った連絡はいつでも歓迎する。			